

【Khaṇḍana bhava-bandhana】解説①

カーンダナ バヴァ バーンダナ ジャガ ヴァーンダナ ヴァンディ トマーイ

1. Khaṇḍana bhava-bandhana jaga-vandana vandi-tomāy
切る・取り除く 世界 束縛 宇宙 敬礼する 私は あなたに

ニーラーンジャナ ナラ ルパ ダラ ニールグナ グナ マーイ

Ni rañjana nara-rūpa-dhara (×2) nirguṇa guṇa-may

否 欠点 人間 形 持つてる 否 性質 性質 たくさん

<訳>

おお、ラーマクリシュナ！あなたはこの世の束縛を断ち切るお方。
私はあなたに敬礼いたします。
あなたは形を持った神の化身でもあり、形の無いブラフマンでもあられます。

<内容>

我々はシュリー・ラーマクリシュナに祈ると、あなたの恩寵でこの世の全ての束縛・マーヤを断ち切ることができます。
宇宙の全ての生きもの、自然、そして人間である私は皆あなたに敬礼します。
あなたには性質が無い姿（ブラフマン）と性質がある姿（神の化身）の2つの姿がありますが、あなたは神の化身として人間の形でこの世にお現れになった。

<語句解説>

Khaṇḍana : 切る、取り除く

bhava : 世界

bandhana : 束縛（世界の束縛＝マーヤ）

jaga : jagad が原語。宇宙 ※1

vandana : 敬礼します

vandi : 私、我々

tomāy : あなたに ※2

Nirañjana : ni（無し）+ anjana（欠点＝心の欠点）※3

nara : 人間

rūpa : 形・姿

dhara : 持っている・運ぶ

nirguṇa : ni（無し）+ guṇa（グナ・性質）※4

guṇa :（グナ・性質）

may : ある・たくさん

<注釈>

※1 この賛歌は夕拝の讃歌でアーラートリック・バジャン (Ārātric Bhajan) という。(名詞) Ārati — (形容詞) Āratrica

アーラティ→5元素の礼拝。

5元素→「地：プリティヴィー」「水：アプ」「火：アグニ」「風：ヴァーユ」「空：アーカーシヤ」。

朝の礼拝は Mangala Arati (Mangala は吉祥) 夕方は Arati

※1 「jagad」は単語のみの意味は宇宙。

jaga-vandana 宇宙の皆さん=全ての人や生きもの

タゴールの名曲「アーナンダローケ」の中での「宇宙の全て」は自然の意味で「太陽や月も(自然)あなたに敬礼します」という内容。この賛歌では世界の全ての生きもの、人間、自然も総称して「この世の全てがあなたに敬礼します」という意味。

※2 ベンガル語で「You あなた」は3種類の呼び方がある。

アプニ：尊敬する人に対して(父親・先生・霊性の師・年上の人・初対面の人)

トゥミ：近い人に対して(友人・仲良し・母親)

トゥイ：とても近い人に対して(兄弟・年下)

シュリー・ラーマクリシュナが生きておられる間は皆、師に話しかける時「アプニ」と呼んでいたが、賛歌を歌う時は親しみを込めて、歌詞の中では「トゥミ」と呼びかけていた。また祈りの時もとても近い存在として「トゥミ」と呼びかけていた。

※3 「Nirañjana」は否定的な意味で「欠点が無い」。肯定的な意味で「純粹」。

直弟子の1人でニランジャンという弟子がいたが、彼の名前もこれと同じ意味。

※4 ニルグナ(グナが無い)グナマイ(グナがいっぱい)というこの歌詞は矛盾しているように見えるが、ブラフマンには2つの姿がある。

①ニルグナ・ブラフマン：形も性質も無い

②サグナ・ブラフマン：形も性質もある。ヒランニャガルヴァ、シヴァ、カーリーなど。(慈悲、純粹さ、知識などの性質を持つ)

シュリー・ラーマクリシュナは「性質が無い姿(ブラフマン)」と「性質がある姿(神の化身)」の両方の姿があるという意味。